

日本自殺総合対策学会 2024年秋季講演会

～“家族という困難”を考える～

庇護の象徴ともいえる家族であるが、まさにその家族との確執によって孤立し、心の健康を蝕まれていく人たちが少なからず存在する現実から目を背けるわけにはいかない。

また、たとえ親密な関係にあっても、過干渉や過保護といった共依存には周囲はもとより当事者が自覚しづらいという側面があり、問題が複雑化する傾向にある。

本講演会では敢えて、こうしたリスクが潜在する“家族という困難”に焦点を置き、機微なテーマであるゆえに対応が遅れがちであったこの問題にいかに取り組むべきか、学術研究や現場での活動から見えてきた課題について論じ合う場としたい。

2024年11月27日(水) 14:00-16:00

内 容 講演1 『家族葛藤と自殺：精神医療の現場から』

田村 毅（精神科医）

講演2 『社会的養育のもとで育ったこども・若者の

18歳以降サポートの現場から』

福本 啓介（社会福祉法人 白十字会林間学校 あすなる
サポートステーション 所長）

森 丈弓（甲南女子大学人間科学部心理学科 教授）

コメン

テーター

渡辺 ゆりか（一般社団法人 草の根ささえあいプロジェクト
代表理事）

コーデ

ネーター

岡 檀（統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター
特任准教授）

（敬称略）

開催方法

Zoomウェビナーによるオンライン開催

参加費

会 員： **無料** 、 非会員： **無料**

（どなたでもご参加いただけます。会員の方には動画のオンデマンド配信を予定）

申込方法

右記のQRコードまたは学会ホームページよりお申込みください。

https://jscsc.smoozy.atlas.jp/ja/lecture_2024



申込期限

2024年11月24日（日）

本講演会は、JST-RISTEX「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）」の研究開発プロジェクト「行政・NPOの孤立・孤独対策現場知を支援する総合知に基づく学術体制構築」の一環で開催いたします。

主催：日本自殺総合対策学会

共催：情報・システム研究機構 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター

後援：厚生労働省

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター